



《将来に向けた取組方針》

いすゞ自動車はすべての事業活動における生態系との関わりを理解し、持続可能な社会実現のため、生物多様性と事業活動の調和を目指した行動を推進します。

私たちは地域本来の生物多様性保全のため、各種ステークホルダーとの協業、連携を通じ、人と自然が共生する社会の構築を目指しています。

〈いすゞ自動車の取組み例〉

私たちが事業を行う場所、そしてその周辺地域の生物多様性を保全するため様々な活動を行っています。

■ 構内の生物多様性保全活動

工場敷地の生態系を専門家に確認していたとき、従業員の手で本来の生態系を保全する活動を推進しています。



■ 地域の生物多様性保全活動

これからも同じ場所で事業が継続できるように、行政や各種団体の活動に協力し、周辺地域の生態系を保全する活動を従業員とその家族で推進しています。

構内には緑地が多く、多くの従業員は自然に恵まれていると考えていましたが、調査の結果、生態系に偏りがあることが分かりました。実際の活動を通じて生物多様性を保全することの重要性を従業員一人ひとりが学んでいます。また、家族と活動に参加することで、家族で環境保全について考える機会が増えた従業員も増加中です。

〈今後の課題〉

これまで構内の緑地保全は美観を中心に行ってきました。美観だけではなく、生物多様性を保全するという視点を取り入れ、本来の地域の生物多様性を保つことが出来るような緑地保全を進めていきたいと考えています。また、地域の皆様にも私たちの活動を知っていただけるように、これからも様々な取り組みを推進していきます。



〈いすゞからのメッセージ〉

私たちいすゞはこれからも「運ぶ」を支え続けるため、豊かで持続可能な、人と自然が共生する社会を目指します。